



下呂市 議会だより

GERO CITY
assembly

第71号

令和4年
2月1日



【下呂温泉合掌村鏡開き】 令和4年1月2日、昨年、地域おこし協力隊として着任された舞妓見習いの竹元磨理華さんも参加され、艶やかに鏡開きが行われました。コロナ禍で客足の心配をしていましたが、たくさんのお客さまに来村いただくことができました。新しい旅先のスタイルとして捉えていただける、よい機会になりました。

CONTENTS

- 10月臨時会の報告（審議結果） (P 2)
- 12月定例会の報告（審議結果、委員会審査報告） (P 2～5)
- 一般質問で13人が市政を問う、委員会活動報告 (P 6～13)
- 市民と議会との意見交換会、3月定例会日程、編集後記 (P14)

10月臨時会の報告

10月21日、令和3年第7回下呂市議会臨時会を開催し、下呂温泉合掌村使途不明金事件において市が被った損害に係る訴えの提起や、旧馬瀬中学校校舎の譲渡など、計4議案を可決しました。

上程議案と審議結果

◎全会一致で可決した議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
幸田2、6号線電線共同溝整備工事請負契約の変更契約の締結について 当該工事の支障となる構造物の取壊しに係る工事費の増および道路側溝規格変更に伴い、変更契約を締結するもの。	可 決 (全会一致)
財産の譲与について 旧馬瀬中学校（建物）を豊実精工株式会社（富加町）に譲与するもの。	
財産の無償貸付について 旧馬瀬中学校（敷地）について、売却用地の確定などに相当の時間を要するため、売却までの間、豊実精工株式会社に無償貸付するもの。	
訴えの提起について 下呂温泉合掌村使途不明金事件において市が被った損害について、損害賠償の請求をしたが、支払いに応じていないため、訴えを提起するもの。	

12月定例会の報告

11月30日から12月21日までの22日間において、令和3年第8回下呂市議会定例会を開催しました。初日には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への臨時特別給付金などに係る補正予算、下呂温泉合掌村における使途不明金事件について、元職員と共謀した不法行為者に対し損害賠償金を求める訴えの提起などを可決しました。

また、最終日（12月21日）には、指定管理者の指定案件6件、条例改正案件4件、新型コロナウイルス感染症対策、合併特例債を活用した今後のまちづくりのための基金創設などに係る補正予算10件などを可決しました。このほか、缶プレス異物混入に係る損害賠償請求調停事件に関する議案など3件が追加上程され、可決しました。

上程議案と審議結果

◎全会一致で可決した議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
（仮称）観光交流センター整備工事請負契約の変更契約の締結について ウッドショックにより、構造木材の調達が困難となったことに伴い樹種変更等を行うため、変更契約を締結するもの。	可 決 (全会一致)
門坂地内災害復旧工事請負契約の変更契約の締結について 令和2年7月豪雨で被災した市道門坂5号線の護岸について、令和3年8月の豪雨により再度被災したため変更契約を締結するもの。	
財産の取得について 小中学校等教育用パソコン等の機器を購入するもの。	
訴えの提起について 下呂温泉合掌村における使途不明金事件について、元職員と共謀した不法行為者に対し損害賠償金を求める訴えを提起するもの。	
令和3年度下呂市一般会計補正予算（第12号） 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への臨時特別給付金、下呂市民会館の駐車場用地確保に係る経費を補正するもの。	

前ページに続き全会一致で可決した議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設の指定管理者の指定について 下呂市オーガニックワークプレイスの指定管理者に特定非営利活動法人みらいろを指定（３年）するもの。	可 決 (全会一致)
下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者の指定について 下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者にスポーツマックス・三幸共同事業体を指定（４年）するもの。	
下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者の指定について 下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者に南飛騨馬瀬川観光協会を指定（４年）するもの。	
下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者の指定について 下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者に馬瀬総合観光株式会社を指定（４年）するもの。	
下呂市観光交流センターの指定管理者の指定について 下呂市観光交流センターの指定管理者に一般社団法人下呂温泉観光協会を指定（２年）するもの。	
下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者の指定について 下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者に飛騨小坂観光株式会社を指定（３年）するもの。	
下呂市基金条例の一部を改正する条例について 下呂市地域振興基金を新たに創設するため改正するもの。	
下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について 健康保険法施行令等の一部が改正され出産育児一時金が引き上げられることに伴い改正するもの。	
下呂市体育施設条例の一部を改正する条例について 老朽化した下呂体育館を取り壊し、その跡地にテニスコートを整備するため改正するもの。	
下呂市分担金徴収条例の一部を改正する条例について 下呂市の土地改良事業の推進を図り、受益者の負担を軽減するため改正するもの。	
令和３年度下呂市一般会計補正予算（第１３号）	
令和３年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第３号）	
令和３年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第３号）	
令和３年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第３号）	
令和３年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第３号）	
令和３年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第２号）	
令和３年度下呂市水道事業会計補正予算（第４号）	
令和３年度下呂市下水道事業会計補正予算（第３号）	
令和３年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第２号）	
令和３年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第５号）	
新型コロナウイルス感染症対策、合併特例債を活用した今後のまちづくりのための基金創設などに係る経費を補正するもの。	
財産の無償貸付について 廃校となっている旧下呂市立菅田小学校の建物および土地の一部について、リングロー株式会社に無償貸付するもの。	

◎賛否が分かれた議案 【①は市長提出議案 ②はその他の議案】 ○…賛成 ×…反対

議 案 名		議 員 名														審 議 結 果
		鷺見昌己	田口琢弥	飯塚英夫	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	田中副武	今井政良	伊藤厳悟	一木良一	吾郷孝枝	中島新吾	中島達也	
①	調停の成立について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	×	×	○	可 決 (賛成多数)	
	缶プレス異物混入に係る損害賠償請求事件調停を成立させるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	○		
	令和３年度下呂市一般会計補正予算（第 14 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×		○
②	缶プレス損害賠償請求事件の調停に係る解決金、廃校となっている旧菅田小学校の民間事業者への貸付に向けた施設機能維持に必要な分離工事費などを補正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	不採択 (賛成少数)		
	コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×			
②	コロナ禍という危機的事態の中で農業者の経営と地域経済を守るため政府関係機関への意見書の提出を求めるもの。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	不採択 (賛成少数)		

総務教育民生 常任委員会

12月16日、委員会を開催し、付託されたら議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設の指定管理者の指定について』（オーガニックワークプレイス※）の指定管理者として、NPO法人みらいを指定するもの）
＊働きながら子育てを可能とするモデルの確立、就業マッチングに取り組むことで女性の就業機会を広げることと目的とした施設

○ オーガニックワークプレイスを拠点とした活動の成果と今後の展開は。

△ 子育てしながら働いている女性との交流や、託児所を備えた職場の体験ツアー、子育てをする女性が短時間・短期間で働くことができる職場の紹介など、女性の就業機会の拡充につながる事業を実施しています。また、女性のスキルアップのための講座やサークル活動によるワーク・ライフ・バランス向上に向けた取り組みを展開しています。

それらが施設の設置目的に沿ってどれだけ成果を上げているか、市として十分把握できていないと

いう課題もあり、市としてこれまでに以上に積極的に施設運営に関わり、児童福祉や商工などの部局とも連携を密にしながら、指定管理者の活動を支援していきたいと考えています。



下呂交流会館西側に位置する「下呂市オーガニックワークプレイス」

『下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者の指定について』（下呂上ヶ平サンビレッジ※）の指定

管理者として、スポーツマックス・三幸共同事業体を指定するもの）
＊市民の元気ではつらつとした心身の発達およびスポーツの振興を図ることを目的とした施設

△ 全体的に指定管理施設の老朽化が進んでいる中、今後の施設修繕に係る大きな財政負担に対応するため、新たな基金の創設の考えはないか。

△ 指定管理施設の延命・長寿命化に向け、現在、各局において今後想定される修繕に係る調査点検などを行っています。

なお、施設修繕に対応した新たな基金を創設する考えはありませんが、現行の公共事業基金の活用も検討していきたいと考えます。

産業経済 常任委員会

12月15日、委員会を開催し、付託されたら議案について審査した結果、請願を除く5議案について可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市観光交流センターの指定管理者の指定について』（湯めぐり館※）の指定管理者として、一般社団法人下呂温泉観光協会を指定するもの）
＊観光客と地域の交流の場として、観光情報の提供、発信や街歩き

の拠点、観光客の防災拠点を目的とした施設

△ 指定管理者の指定が公募によらず、特定指名に至った経緯と施設の運営方針は。

△ 下呂市観光交流センターを工コッリスムや、DMOなども含め、下呂市全体の観光交流の拠点として考えると、施設の運営には相当の技量とノウハウが必要と判断し、市内の旧町村全ての観光協会と密接な連携があり、下呂駅前

の総合観光案内所の運営などで、実績のある団体の特定指名に至りました。

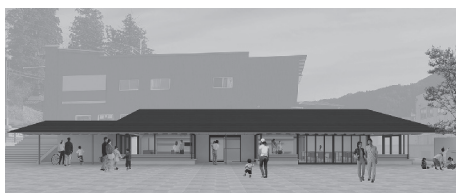
観光株式会社を指定するもの）

△ 近年はコロナ禍もあって、赤字を強いられているようであるが、地元にとっても雇用の創出など重要な施設であり、指定管理料の積算は妥当なのか。

△ 指定管理者と度重なる協議を重ね、また過去4年間の純利益を参考として指定管理料を積算し、収益についてはこまめな催しの開催による増益に努められることを確認しています。

『コロナ禍による米価下落の対策を求める請願』

現状では本議会単独での意見書の提出では、実現性が乏しいことから、不採択すべきものと決しましたが、委員会では、コロナ禍の中で農業者の経営と地域経済を守るためには、コメの需給環境の改善や米価下落に歯止めをかけることは必要であり、十分理解できるとの意見もありました。



下呂市観光交流センター「湯めぐり館」完成予想図

予算特別委員会

12月17日、委員会を開催し、付託された10議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《地域振興基金について》

Q 地域振興基金の運用方法は。

A 地域の均衡ある発展や、一体感の醸成に向け「まちづくり」や「地域振興事業」を充実させるため、合併特例債を財源とし、令和5年度までの3年間で29億円の基金を積み立て、ハード・ソフト事業の両面で効率的かつ計画的に活用していきたいと考えます。

《ゆつたり館の今後の運営について》

Q 閉鎖中の施設を地元のNPOが活用を検討したいとの話も聞か。

A 地元商工会からも、何とかに活用したいとの相談も受けています。施設内の会議室等は引き続き管理や活用を検討していきますが、老朽化が激しく経費の高む温泉入浴設備は中止し、ボイラー等の保守点検も停止したいと考えます。

Q 温泉施設の再稼働、民間から利活用の提案があった場合は。

A 民間で利活用していただければ、非常にありがたいですが、市として現状では、建物は利活用していきたいと思いますが、温浴施設

設についての改修は難しいと考えます。

《看護師の修学資金について》

Q 看護師等修学資金貸与事業は大変良い事業と思うが、減額となった理由は。

A 当初14名を見込んでいたが、11名になったための減額で、修学資金を借りていた学生から貸与辞退の申し出によるものが、主な原因です。また、市内病院等の募集が少ないため、就職が見込めないことも要因の一つではないかと考えています。

Q 条件緩和など現在のニーズに合った支援方法へと見直し、制度は残してほしい。

A 現行制度では、3年間借りて約5年間勤務していただくこととなります。今後は、看護学生が借りやすい制度へと見直しを行い、何らかの形で制度は維持していきたいと考えます。

《下呂温泉地域おこし協力隊事業について》

Q 地域おこし隊員である舞妓さんの活動状況は。

A 8月から稽古が本格的に始まり、現在踊りの先生に付きながら、前向きに取り組まれています。上達も早く1月2日の合掌村の鏡開きで舞妓見習いとして初披露できるよう取り組んでいます。また、益田清風高校の観光講座にも出席し、舞妓になった動機や舞妓の歴

史などを生徒に伝え情報発信に努めています。

《小口融資事業について》

Q 小口融資預託金が減額の見込みとなっているが、その理由は。

A 今年度、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言があったことで小口融資より緊急支援融資が多くなったことが要因です。

《市道整備事業について》

Q 繰越事業で施工中の森8号線は、交通量も多く安全第一で事故の無いようお願いしたい。

A この場所は、カーブで日当たりも悪い状況ですので、特に、冬の期の歩道において、歩行者の安全を第一に、凍結防止対策を万全にしていきたいと考えています。

《新テニスコートへの進入路について》

Q 新テニスコートの進入路に自動車の通行の支障となる電柱や照明灯等が混在しているが、撤去の予定はあるのか。

A 道路側で支障となる照明付電柱は撤去し、照明器具は移設して進入路のスペースを確保します。また、進入路付近の横断歩道は北側に移設します。

《スポーツ振興について》

Q 市長との懇談会で市内のスポーツ事業が統一化されていないようなことが話題にあがったが、課題は。

A 合併前各地域では、数々のスポーツイベントが開催されていま

した。スポーツ振興は、地域の元気の元であることから、来年度の組織再編では、スポーツ振興に重点を置いた編成をし、地域に元気を取り戻す施策を展開していきたいと考えます。また、各地域のスポーツ団体から意見を聞きながら協議を進めます。

《育英資金活用事業について》

Q 大変良い制度だと思いが、今年度39名から17名に減った理由は。

A 所得制限があることも要因の一つであると考えます。周知方法については、従来どおり、中学3年生や高校生には学校を通じて紹介していますが、市のホームページや広報紙等でも周知しています。

《新規のデイサービス事業について》

Q 訪問通所サービスの施設が増えたことは良いことであるが、提供サービスの内容は。

A 市外法人による一日型のデイサービスが湯之島地区に、また、市内三つの法人が花池、西上田、湯之島地区に食事と入浴の無いリハビリに特化した半日型の介護サービスを提供する施設を開設されました。こうした施設は、市内には少なく、介護サービスの幅が広がりが大変ありがたいと感じています。

一般質問

13人が市政を問う



9 番
今井政良議員

1 新型コロナウイルス感染症予防のためのワクチン接種について
①市の3回目ワクチン接種計画と、一般市民に対する接種の周知方法および予約方法等について。

■健康福祉部長

接種券は2回目接種から7カ月を経過した方から、毎日約400名ずつ送付する予定である。コールセンターとインターネットの予約とし、詳細は広報げる令和4年1月号等でお知らせする。

②12歳から18歳までのワクチン接種率および今後予想される5歳から11歳への接種対応について。

■健康福祉部長

12歳から18歳までの接種率は、12月6日現在80%余りで、今後接種が予想される5歳から11歳への接種については、県立下呂温泉病院と市立金山病院で接種できるよう、下呂市医師会で協議していただいている。

2 自然災害に強いまちづくりについて

①各自治会からの地元要望事項の主な内容について。

■下呂振興事務所長

災害関連の内容で主な要望は、河川に堆積した砂利の除去、護岸の修復のほか、道路、橋梁の補修などが挙げられる。

②自然災害に強いまちづくりに向けた新年度予算の考えについて。

■建設部長

災害の恐れのある河川について、未然防災の観点から普通河川の改修を計画する。新年度予算にも、災害に強い公共土木施設の整備に必要な予算は計上していく。

3 農業者が抱える課題と市の対応について

①異常気象、コロナの影響、燃料・資材費等の高騰による所得減少に対する市独自の支援策について。

■農林部長

市独自の支援策はないが、「農業経営収入保険」などの周知・推進を図りたい。

②高齢化が進む中、将来を見据えた市の農業構想について。

■農林部長

荒廃する農地を増やさないため、先ずは今ある優良農地をしっかりと守ることが重要と考え、「農業次世代人材投資事業」による新規就農者の支援の他、「人・農地プラン」の活用などにより地域農業、農村環境について、地域の皆さまと共に考えていきたい。



4 番
森哲士議員

1 人口減少と担い手不足による農地・山林の荒廃と空き家対策について

①現在、市内各地で耕作放棄地が年々増えている。このままでは耕作放棄地から荒廃農地へと進むのではないかと懸念される。また、林業の衰退と共に森林が荒廃しており、住宅街での獣害の増加や治水が滞り災害発生が懸念される。このような事態に歯止めをかける政策・施策は。

■農林部長

現状の農地の維持と、新たな担い手の確保などを並行して進めることで、担い手の減少による荒廃農地の発生防止を図っている。山林については、森林環境譲与税を活用した森林整備を実施するため、今年度から前段となる意向調査を本格化している。

②現在、市内各地で空き家が多くなりつつある。空き家を放置しておく、所有者が不明となり、倒壊などの危険性が高まる懸念が懸念される。この事態を回避するための対策は。

■市長公室長

市内にある空き家の利活用を促進するため、不動産業者と連携し、大規模な修繕が必要のない住宅をホームページに公開し紹介している。

■建設部長

老朽化により倒壊の恐れがある住宅など、適正に管理されていない空き家の把握に努め、所有者に対し助言指導を行っているが、対応していただけないケースも多くあり、苦慮している。空き家の持ち主が自ら解体していただけるよう、国・県の補助制度を活用した、老朽空き家を解体するための補助金制度の創設に向け、準備を進めている。

2 下呂市の組織再編について

令和4年度における機構改革（組織再編）についての考えは。

■市長

コロナ終息の兆しが見えない中ではあるが、公約の実現に向けて組織再編を進めたい。市民に分かりやすい組織や名称としたい。効率的な業務運営、管理職の責任分担の平準化やワーク・ライフ・バランスにも取り組みたい。





5 番
田中喜登議員

1 行政と大学との連携協定について

①現在締結している大学との連携協定の内容は。

■市長公室長

五つの大学と地域づくり、生涯学習、国際交流、健康医療などの分野で連携協定を締結している。

②これまでの連携協定に基づく取り組みとその成果は。

■市長公室長

市が設置する会議や委員会に教授が委員として就任していただき、ご指導をいただいている。この他、現場においては、学生など若い人が地域の人とふれあひながら、活発に活動していただいていることが、地域の活性化にストリートにつながっている点も評価できる。

2 マイナンバーカードについて

①現在までの交付状況は。

■総務部長

11月末現在で累計1万5072枚、交付率は48・02%で、県内では白川村に次いで、第2位の高い交付率となっている。

②利用できるサービスの内容と作成するメリットは。

■市長公室長

各種手続きにおいて、本人確認用書類として使えることや、それ以外にも、例えばオンラインでの税の確定申告や、医療機関においては、健康保険証として利用が可能である。

③健康保険証として使用できる医療機関は市内にどれくらいあるのか。

■総務部長

12月5日現在、市内で利用できる医療機関は、医科が3力所、歯科が3力所、薬局は1力所となっている。

3 土木事業の発注について

現在進行中および今後発注予定の土木工事は、近年にない件数となっており、市内土木事業者が対応可能な範囲を超える可能性も出てきている。各種土木事業が円滑に進められる市としての対策は。

■総務部長

四半期ごとに発注計画を取りまとめ、その都度公表し、事業発注の平準化と円滑な受注機会の確保などに努めている。特に、災害復旧事業については、柔軟な対応を行っている。



7 番
中島ゆき子議員

1 市職員の懲戒手続きについて

職員の規律違反に係る懲罰委員会への審査付託の要否判断基準および減給停職等の懲戒処分決定方法は。

■総務部長

規律違反に該当するか否かは「下呂市職員の懲戒処分等の取扱に関する規程」に照らし判断し、該当案件は委員会に付託されている。委員会でも過去の事例や他自治体の事例も参考に処分案を決め、最終的に市長が処分の決定をしている。

2 旧下呂温泉病院の跡地の活用について

周辺では、無電柱化工事が進んでいるが、今後の跡地活用計画は。

■市長公室長

旧リハビリ棟跡地については、敷地内の土壌から基準値を超えるヒ素が検出されており、地下に残存する基礎構造に大幅に手を加えるような工事は困難であると考えられる。今後、市内各地区の関係者や事業者等の関係団体等で構成する協議会を立ち上げ、その中で意見を聞きながら検討したい。

3 近年多発する豪雨災害に対する市の体制について

①「警戒レベル3高齢者等避難」の発令に伴い、指定避難所が開設されるが、これによる市の体制強化は。

■市長公室長

施設ごとの避難所開設マニュアルを作成するなど、担当職員でなくとも開けられる体制を検討していく。

②平成30年と令和2年に発生した災害における「災害ごみ」について、その処理方法の違いは。

■環境部長

災害廃棄物については、「下呂市水害廃棄物処理計画」に基づき処理を行っている。令和2年度は、処理品目ごとに契約したこと、災害廃棄物集積場を2力所としたことにより、契約件数が平成30年度に比べ増えている。

4 老朽化が進む水道管の更新について

水道管の老朽化により有収率が低くなっているが、今後の水道管の更新計画は。

■生活部長

市内の580キロメートルに及ぶ水道管全てを一度に更新することとは難しい。老朽化が著しい箇所を優先順位を決め、計画的な更新を進めたい。



8 番
田中副武議員
(公明党)

1 新型コロナウイルス接種について

政府は新型コロナウイルス感染の第6波に備えた対策を示した。
①「交差接種」についての市の考えは。

■健康福祉部長

国は、「追加接種に使用するワクチンは、1回目・2回目に接種したワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチン（ファイザー社またはモデルナ社ワクチン）を接種することが適当」としており、ワクチンの配送供給数に限りがあることから、下呂市においても交差接種をお願いしていく予定である。

②広がりを見せる接種証明の活用について、その状況は。

■観光商工部長

接種証明の活用について、必要性は事業者の方も理解されているので、今後、県民割やGOTOトラベルの始まる際には、事業所で準備をされ対応される見込みである。

③健康被害救済制度の申請の実

績は。

■健康福祉部長

健康被害救済制度の申請実績はゼロ件であるが、国への副反応報告は4件挙がっている。

2 こども・子育て支援について

①児童扶養手当は年6回支給されているが、児童手当は年3回となっている。同様に6回支給にできないか。

■総務部長

児童手当の支払い時期については、児童手当法で年3回と定められており、市独自で定めることはできないので理解願いたい。

②HSC（ハイリー・センシティブ・チャイルド）が不登校の原因の一つとも指摘されているが、認知度の向上や学校教育現場における配慮についての考えは。

■教育長

HSCとは、感性がとても強く、人一倍敏感な子とされている。HSCはまだ新しい概念であり、教育現場での認知度については低い状況であるが、保護者の方との相談はもちろん、学校内でもこうしたお子さんの状態・特性を皆で理解しながらその子の不安・混乱・苦しさに寄り添った支援をしている。



6 番
尾里集務議員

1 観光景観林整備事業について

主要地方道下呂小坂線、萩原町西上田から少ヶ野間の沿線を観光景観林として整備してはどうか。

■農林部長

行政だけでなく地域もその必要性を認め、一緒になって進める必要がある。今年度の森林管理委員会の活動テーマの中に「森林配置計画の見直し」が盛り込まれているので、ご提案についても森林管理委員会の中で取り上げ、今後検討していきたい。

2 国道257号未改良区間の整備促進について

川上トンネルの開通も見込まれる中、さらなる交通アクセスの改善を図るため、高山市清見町麦島から荘川町三尾河までの未改良区間について、高山市との連携による整備促進ができないか。

■建設部長

当該区間は高山市の行政区域内で、高山土木事務所が管轄されている事業であり、事業の実施順序を決めるに当たってはさまざまな事情があると推察される。当市・

高山市・飛騨市・白川村の飛騨3市1村で組織する「飛騨地域基盤整備促進期成同盟会」を通じて高山市と連携し、肅々と要望活動を行っていききたい。

3 地域を結ぶ道路整備について

①馬瀬・萩原間を結ぶ蓮坂林道について、その利用度を高めるため、馬瀬側の舗装ができないか。

■農林部長

当該林道の舗装に係る地域のニーズは認識しているが、林道改良事業で舗装を実施する場合、受益者負担金として事業費の10%が必要となるため、地元関係者の合意がされれば、事業採択に向け準備を進めていきたい。

②大規模林道八幡高山線の馬瀬・萩原区間の開設計画は。

■農林部長

基幹林道下呂・萩原線の県代行工事が、令和3年度末をもって完了することから、それに代わる事業として、八幡高山線馬瀬・萩原区間の事業着手を国・県に要望していきたい。





12 番
郷孝枝議員
(日本共産党)

1 福祉灯油助成でくらし応援を
市民のくらしは、コロナ不況と原油高などにより、生活が苦しくなっている。特に暖房費がかさむ冬場は、生活困窮者への福祉灯油助成が必要。また、社会福祉施設の暖房費高騰分に対しても助成を。

■健康福祉部長

今後の国の議論を注視し、特別交付税措置の適用範囲等を把握した上で、必要な対策を検討する。社会福祉施設における暖房費を含む運営費は、基本的にはサービス料で賄うものと考えており、現時点において助成は考えていない。

2 高齢者の地域でのくらしを支えるために

①高齢者のみの世帯が増えており、退院後の訪問医療、居宅介護・リハビリなど、高齢者を支える体制として地域包括支援センターの増設を。

■健康福祉部長

医療・介護の現場では、人材不足が慢性的な状況となっており、現行スタッフにさらなる負荷を求

める「支える体制の整備」は非常に難しい状況であり、市民の皆さまの「健康で自立した生活」の実現に向けたご理解・ご協力を是非とも賜りたい。

②補聴器購入の助成をする自治体が増えている。高齢化が顕著な下呂市でもニーズが高まっており、補聴器の購入補助の実施を。

■健康福祉部長

現段階での、加齢による難聴者に対する補聴器の購入補助は考えていない。国レベルでの議論を注視している。

3 学校トイレに生理用品の常備を

各学校の状況に応じ、児童・生徒が困ったとき、気兼ねなく手にすることができるよう、女子トイレに生理用品を常備するよう求める。

■教育委員会事務局長

非常にデリケートな側面を含んでおり、また、物を置いたから全て解決ということでもないため、今後可能な限り対面での対応を続けていきたいと考えている。当面は現状の保健室での対応を継続したい。



10 番
伊藤厳悟議員
(日本共産党)

1 来年度の組織体制の見直しについて

国では「こども庁」の創設に向けた検討が進められているが、その流れを踏まえ、子ども政策を一元的に担う新たな組織を設ける考えはないか。

■市長

来年度の組織改編として、まずは効率的な業務運営や分かりやすい組織となるよう取り組みたい。子ども政策を一元的に担う組織については、国の方針に乗り遅れることのないよう、今から研究を進めたい。

2 下呂市における農林業の重要性について

①ウッドショックと言われる状況下での木材価格の動向と需要拡大に向けた取り組みについて。

■農林部長

アメリカ発のウッドショックにより、原木については、それまでの価格に比べヒノキは2倍から3倍に、製材品ではスギ、ヒノキとも柱角の価格は2倍程になっている。木材価格の高騰や関係団体等

の要望も踏まえ、木材の搬出促進のため間伐や一層の木材利用促進を図っていく。

②令和3年度の水稲作付面積について

■農林部長

令和3年の水稲作付面積は396・4ヘクタール、平成29年が436・9ヘクタールであり、年々減少傾向にある。

③トマト農家戸数と作付面積について

■農林部長

令和3年のトマト農家は55戸、作付面積は1174アールとなっている。平成29年が41戸、882アールであり、以降離農などにより人数が減少している年もあるが、一方で新規就農される方もあり、基本的には人数・面積ともに増加傾向である。

④畜産農家戸数と飼育頭数について

■農林部長

畜産農家戸数については、町村合併後、和牛農家が当時の79戸から現在38戸と半減している。ただし飼育頭数については当時の1814頭に対し、現在1854頭とほぼ横ばいとなっており、小規模の畜産農家が離農される一方で経営規模を拡大される農家もある。



13 番
中島新吾議員
(日本共産党)

1 市民のいのちを守ることを最優先にした新型コロナウイルス「第6波」対策を

「コロナの「第6波」がインフルエンザと一緒に広がるかもしれない。そこで、感染拡大防止のために高齢者施設等でのPCR検査の実施をすること。

■健康福祉部長

医療機関等の医師の指示をいただき、実施については慎重に判断させていただく。

2 中小事業者の経営支援を

①原油価格高騰や食料品などの値上りで、全ての業種で大きな打撃になっている。それぞれの業種において必要とする支援と対策を。

■観光商工部長

全市民への商品券の配布とともに、感染症対策に係る消耗品等の購入補助を市内事業者を活用いただいている。また、原油価格の上昇で影響を受ける事業者への原油高対策資金も支援の対象とした。

■建設部長

事業を実施するためには財源の確保が課題となっている。

③「インボイス」制度に「反対・制度の見直し、実施延期」を国に求めている。

■観光商工部長

インボイス制度は、取引の透明性を高めるための制度と理解しており、制度の周知や導入経費に係る補助制度の周知に努める。

3 家族農業を大事するための経営支援を

市として、農家が生産を続けられるよう、燃料や資材などの値上り、米価の暴落などの状況に支援をする考えは。

■農林部長

来年度予算編成においてもこれまで同様の取り組みを継続し、地域農業、家族経営農業の支援を行っていく。

4 新年度の組織再編の内容と市長が目指す狙いは

新年度に組織再編をしようとしているが、それが市民に対するきめ細やかな行政サービスをするため、現場主義を軸とし、振興事務所の機能強化となること。また、ワーク・ライフ・バランス職場の実現は。市長の考えを。

■市長

市民に分かりやすい組織、効率的な業務運営を目指す。



3 番
飯塚英夫議員

1 令和2年豪雨災害の復旧状況と課題について

①令和2年7月に小坂・萩原地区を襲った豪雨により被災した施設の復旧状況は。

■建設部長

道路9カ所、河川9カ所、橋梁2カ所、公園1カ所の復旧工事を行っており、すでに工事が完了しているのは、道路3カ所、河川2カ所となっている。

②国道41号を横断する小河川（宮田・大ヶ洞地内）の改良計画の進捗は。

■建設部長

当該小河川は砂防指定地にも指定されており、砂防施設は岐阜県、国道を横断する暗渠施設は国道事務所、暗渠施設の中の空間の管理は下呂市というように、三者で役割分担して管理しており、改良計画については、三者で協議している。

2 JR高山本線の活用と関連する各事業について

①脱炭素社会に向けた取り組みの一環として、市職員の通勤手段を

マイカーから鉄道利用への転換ができないか。

■総務部長

運行本数が限られていること、多様化する業務のため時間外勤務が増えていることなどから、現実的には大変難しいものと考えている。

②「萩原踏切」拡幅改良事業の実現に向けて調査設計業務が進められている。工事中における歩行者用迂回（うかい）路確保等、地域住民への周知、関係機関との調整は。

■建設部長

現在、鉄道事業者と協議中であり、通行規制の時期も含め、今後地元自治会や学校等関係の皆さまにご相談させていただく。

③高山本線の特急「ひだ」が、来年度に新型車両で運行開始となる。また、令和12年には下呂駅開業100周年を迎える。そこで相次ぐ節目を控え、旧下呂温泉病院跡地を利用した下呂駅周辺整備の事業促進に向けた市の考えは。

■市長公室長

節目を考慮しながら進めていくことは重要であると考えており、まずは旧下呂温泉病院跡地の活用を検討を進めつつ、下呂駅周辺の全体的な改修を含めた検討については、長期的な視点で進めたいと考えている。



1 番
鷺見昌己議員

1 総合計画に掲げるまちの将来像の実現を目指して

①まちの将来像実現のための基本戦略は。

■市長

「もつと住みたい訪れたいわくわく下呂市」として、下呂温泉のみならず、市全体で訪れていただけるまちにしたい。また道路整備にも注力し、住みたいまちづくりを進めたい。

②下呂市の特色を生かした先導的な取り組み、将来あるべき姿を想定した都市計画の考えは。

■市長公室長

下呂温泉を中心とした観光産業の振興が先導的な取り組みとして挙げられる。都市計画に関してはワークシヨップを通じた集落計画をベースとし、最終的に市全体の総合計画へとレベルアップさせていくこととしている。

2 文化財等の歴史的資源を生かしたまちづくりについて

①これまでの具体的な取り組みと歴史的建造物、史跡の保全に対する考えは。

■教育委員会事務局長

文化財ガイドマップや史跡復元イラストの作成の他、学校の「ふるさと学習」などが挙げられる。保全については、市民の皆さまのお力添えが不可欠であり、市として少しでもそのお手伝いができるように努めていく。

②文化財等の歴史的資源を生かしたまちづくりを推進するために学芸員の配置が必要と考えるが、その考えは。

■教育委員会事務局長

学芸員（歴史学）の募集について、関係部局と協議している。

3 林道路網整備計画について

①市内の林道、林業専用道、森林作業道の総延長等、整備状況は。

■農林部長

令和2年度末の林道延長は52万4575メートル、作業道延長が82万2605メートルである。近年は森林作業道の整備が中心となっており、令和2年度は1万3441メートルが開設された。

②広域基幹林道下呂萩原線の活用に向け、路網整備が必要と考えるが、その考えは。

■農林部長

森林作業道を中心に整備が進められていく。



2 番
田口琢弥議員

1 下水道事業の現状と課題について

①下水道事業の現状と直面する課題は。特に、予想以上の人口減少に伴う下水道事業の運営への影響は。

■生活部長

下呂市の下水道事業は、公共下水道3処理区、特定環境保全公共下水道5処理区、農業集落排水施設10処理区、小規模集合排水施設3処理区があり、一般会計繰入金に頼った経営状況となっており、施設更新や施設維持管理に係る費用の確保が重要である。

②健全経営に向けた使用料金改定等、今後の運営方針は。

■生活部長

下水道施設の統合や合併浄化槽への切り替えなどによる管理経費の削減を検討している。現在、下呂市上下水道運営委員会を2力月に1回程度開催しており、下水道事業の現状や課題、使用料金などを説明し、審議していただいている。使用料金の改定については、令和6年4月を目標と考えている。

が、具体的な改定内容は何も決まっていない。

③下水道管路及び処理施設の老朽化に対する更新計画は。

■生活部長

老朽化に対する更新については、国・県の補助金の活用などによる施設更新費用の確保が必要であり、その上で、今後の更新計画等を整理していきたい。

2 豪雨により被災した上下水道施設の現状と対策について

豪雨により被災した下呂上水道東上田取り入れ口の整備計画は。

■生活部長

今のところ整備計画はないが、来年度以降、施設の更新計画の中で考えていきたい。

3 安全・安心・快適な市道の整備について

市民生活に欠かすことができない市道。歩行者にとって歩きやすく、運転者にとっては運転しやすい、快適な市道の整備に向けた考え方は。

■建設部長

社会資本整備総合交付金などの有利な補助制度を活用して緊急性の高いものから、順次整備を行っている。なお、路面の老朽化が著しい市道については、計画的に順次舗装の補修を行っている。



14 番
中島達也 議員

1 旧下呂温泉病院跡地利用計画について

旧下呂温泉病院跡地は、現在臨時駐車場等に利用されているが、当初の取得目的は「地場産業の振興に資するため」となっている。今後の計画について伺う。

■市長公室長

近年においては新型コロナウイルス感染症の大きな影響による社会情勢の変化などもあることから、地元の方々をはじめ関係団体の皆さまから、改めてご意見・ご提案をお伺いする必要があると考えている。

②産業振興について

■市長公室長

地域の産業振興に資するものでなくてはならないと考え、地元や関係団体の皆さまとの意見、要望等を丁寧に取りながら進めたい。

2 下呂市森地内の黒戸谷防災計画について

①豪雨の度に危険にさらされる黒戸谷の防災対策は、地元の悲願で

ある。今後の計画について伺う。

■建設部長

今年度、黒戸谷改修のための予算設計業務に着手しており、令和4年度以降、順次詳細設計、改修工事を実施する予定となっている。

3 県道および市道の雨量規制の現状と解除計画について

国道41号金山町中切・三原間をはじめ、雨量規制解除に向け鋭意取り組まれている。県道・市道の雨量規制の現状と解除計画について伺う。

■建設部長

下呂市内には国道41号に2カ所、県道に5カ所の雨量規制区間があり、市道においては、県道の雨量規制に伴い2路線で規制を行っている。これらの雨量規制区間は、道路利用者の安全確保のために設けられた規制であり、簡単に解除できるものではないが、大規模な災害の発生時には緊急輸送道路としての役割を担う路線もあるため、災害など非常時こそ通行できる安心・安全な道づくりが求められている。現在、岐阜県では規制のある路線を中心に、斜面の落石防止対策などの防災・改良事業を着実に進めていただいているが、今後も早期完成に向けて働きかけていく。

新型コロナウイルス感染症

対策特別委員会

12月14日、委員会を開催し、3回目のワクチン接種について、執行部から説明を受けました。主な質疑の内容は次のとおりです。

《3回目のワクチン接種について》

Q 予約時の混乱を改善するため、予約時間を指定してはどうか。

A 今回は、1日400名ずつ接種券を送付する予定ですので、前回のような大きな混乱はないと考えていますが、部署内で再度検討していきます。

Q 2回目の接種に用いたワクチンの種類に対し、3回目の接種は、どの製品が望ましいのか情報が交錯しており、市民は不安に思っているようだ。

A 国の方針に従い、安全性については周知していきますが、ワクチンは2種類で必要分が配布されるため、中には希望どおり選択できない場合も出てくると思われるので、今後は、交差接種も重ねてお願いをしていきます。

Q ワクチンの接種会場は、地域ごとに異なるのか。

A 今回は、旧5カ町村の全ての地域で接種できるよう会場は準備していきますので、都合の良い場所で接種していただければと思います。

濃飛横断・リニア

特別委員会

12月14日、委員会を開催し、市長並びに建設部から事業の進捗状況や要望活動についての説明を受けました。

濃飛横断自動車道整備については、市長が会長を務める同整備促進期成同盟会の活動として、中津川工区の整備促進をはじめ、郡上市八幡町から和良町間の堀越峠を回避する郡上工区の国の権限代行による事業化、併せて国道41号屏風岩改良や門原防災事業の推進、三原防災の事業化に向けた要望がなされています。

古田知事、関係市村の首長による国土交通省、財務省への要望には、関係国会議員も同行され、今回、古田知事自らが要望書を提出されたのは大きな前進であると考えています。

濃飛横断自動車道は、2027年開業予定のリニア中央新幹線岐阜県駅（中津川市）へのアクセス道路として観光をはじめ、産業振興、まちづくりへの経済効果、また災害時の緊急輸送道路として期待されています。

今後中期成同盟会や、下呂市、郡上市、中津川市、東白川市の三市一村の議会とも連携強化を図りながら取り組んでいきます。

市内行政視察

総務教育民生常任委員会

◆期 日 11月22日

◆視察先 下呂市立下呂中学校

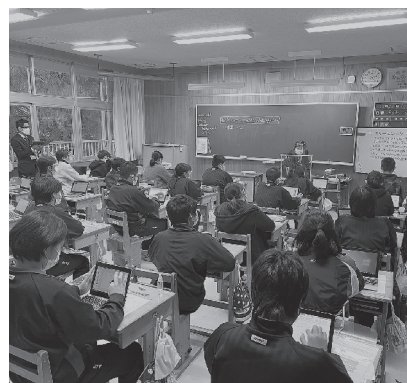
下呂市教育委員会から「令和の学び開発実践校」の指定を受けている下呂中学校の教育公表会（授業発表会）を視察しました。

公表会では、1年生から3年生までの全てのクラスで5時間目と6時間目が公開され、さまざまな教科の授業を参観させていただきました。

中でも3年生の英語の授業は、密を避けるために体育館で行われていました。一人一人がタブレット端末で発音を調べ確認しながら、「災害時において、ハザードマップをもとに、地元の危険箇所について説明ができる」を課題として、A L T（外国語指導助手）に対して、実際に説明を行うといった内容でした。生徒の皆さんは、タブレット端末の操作に慣れており、スムーズに英語の単語などを調べていました。

また、授業中は基本的にマスク着用となっていました。A L Tへの説明の際は、フェースシールドも付けて発言され、感染予防を徹底している姿に感じました。

今後さらに、子どもたちの学びを深めるために、一人一台のタブレット端末の有効活用が図られることを期待したいと考えます。



タブレットを活用した授業の様子

産業経済常任委員会

◆期 日 12月22日

◆視察先 薬師の手湯、観光交流センター整備工事現地、噴泉池、幸田2、6号線電線共同溝整備工事現地

委員会において、観光振興に向けた取り組みを確認するため、現地視察研修を行いました。

1 薬師の手湯（湯之島）

地元区長、観光商工部より、設置の経緯や効果について話を伺い、今後の課題等を探りました。手前にある道路標識によって手湯が目立たないことから、標識の移

設を希望されていることや、手湯の近くにベンチ等を設置し、観光客の皆さまにくつろいでいただける工夫が必要であることを共有させていただきました。



薬師の手湯

2 観光交流センター整備工事現地（森）

長年要望されていた新たな観光交流施設の工事が進められていることから現地を視察しました。まだ外構工事中で、建物の内部を見学することができませんでしたが、外観を眺めての説明を受け、木製灯籠側面に施設看板の設置が検討されていることや、1月末に完成する予定であることを確認しました。

3 噴泉池（幸田）

足湯に変更された経緯や今後の改修工事の必要性について話題となりました。

深さを浅くするという方法も検討されていたようですが、現状の浴槽内に簡易なベンチ（岩か



ら岩へ渡す板）を設置することで十分ではないかとの意見もありました。

4 幸田2号、6号線電線共同溝整備工事現地（幸田）

建設部の案内で、整備工事の状況を確認しました。共同溝のふたは簡単に外せない構造になっていること、電柱の撤去は令和5年度になること、現状の道路が計画より20センチほど高いため、今後、表土を取り除くことなど今後の工事予定について説明を受けました。電線地中化の範囲は、あくまで市道沿線のみで、その他には電柱が残ることを確認しました。



電線の地中化が進められる市道幸田2号線

今回の研修では、観光地としての整備がどのように行われているか、また、その整備後はどのように活用がされるか、理解する機会となりました。

市民と議会との意見交換会

下呂市議会では、市民の皆さまのご意見を市政に少しでも反映できるよう『市民と議会との意見交換会』を開催しています。今年度は、新型コロナウィルス感染防止の観点と、より細かなご意見をいただくために、自治会・町内会や各種団体が普段行っている会議に向く方法で開催することとしました。開催希望団体の募集を行ったところ、金山地区、下呂地区、中原地区、竹原地区の自治会・NPO法人から申し込みをいただきました。すでに行われた意見交換会では、人口減少を食い止めるための既存施設を活用したまちづくり、移住者支援、災害対応、ごみの減量化に向けたリサイクルシステムの構築、新型コロナウィルス感染症対策、濃飛横断自動車道などの新たな基盤整備、農林業の担い手不足解消対策、公園整備、下呂温泉病院跡地の利用計画、空き家対策、通学路の安全確保など多岐にわたる多くのご意見やご提案をいただきました。また、「本会議だけでなく委員会もテレビ中継してほしい」「議会への意見・提案箱に係る回



令和3年11月30日 金山市民会館にて

答に「執行部に伝える」が多いが、その後どうなったのか示してほしい」など、議会活動に対する要望もいただきました。今後は、市民の皆さまの身近な存在となるよう情報発信に努め、寄せられた貴重なご意見を活かし、政策提言へとつなげ、『もつと住みたい訪れたいみんなのふるさとわくわく下呂市』となるよう取り組んでいきます。

編集後記

12月24日、クリスマスイブの夜。白鷺橋周辺で開催されたキャンドルイルミネーションに行ってきました。ロマンチックな下呂温泉を演出するイベントで、関係者の皆さまの並々ならぬ努力のお陰で15年以上続いています。会場には、至る所にサンタクロースの帽子を被ったカップルに、家族連れ、空を見上げれば色とりどりの花火。最近のコロナ禍で忘れかけていた、たくさんの方が集まることの楽しさ、笑顔という感覚を取り戻したクリスマスイブとなりました。(T・T)

3月定例会会期日程

3月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月	日	曜日	会議内容	時間
2月	25日	金	本会議（初日）	10時～
3月	10日	木	本会議（一般質問）	
	11日	金	本会議（一般質問）	9時30分～
	14日	月	常任委員会	
	15日	火	常任委員会	
	16日	水	予算特別委員会	
	17日	木	予算特別委員会	
	18日	金	予算特別委員会	
	22日	火	予算特別委員会	10時～
	25日	金	本会議（最終日）	

※日程は変更になる場合もあります。

場所：本会議（下呂庁舎3階 議場）
委員会（下呂庁舎3階 第1会議室）

下呂市議会だよりが
スマホで読めます!!

インターネット上で
無料閲覧できる、
ギフイーブックスで
配信中です。

